

2009年2月23日

## 西東京市子どもの権利に関する条例についての考え方

### 西東京市子どもの権利に関する条例策定委員会

西東京市では、西東京市子ども福祉審議会の提案を受けて、子どもの権利に関する条例の策定に向け、西東京市子どもの権利に関する条例策定委員会でその内容の検討を行っています。委員会ではこれからの審議に向けて、子ども、子どもの権利、条例についての考え方について次のようにまとめました。

#### 子どもとは何だろう 子どもにとって大切なこと

子どもは生まれてすぐにひとりで生きていくことはできません。でも、大人になるまでの間に少しずつ育ちその力をつけていきます。子どもにはそうした力があります。

そして、子どもが育つためにはたくさんの人のサポートが必要です。家族など家庭的な環境は子どもに大切ですし、学校など子どもが多くのかを学ぶ環境は子どもに欠かすことのできないものです。遊びの空間や環境も、そしてそれを支える地域も子どもにとって大切なものです。

このことは、子どもは、こうした関わりを持っている周りから影響を受けやすいということでもあります。「必要な栄養がとれていれば」、「虐待を受けることがなければ」、「いじめられることがなければ」、「事故に遭うことがなければ」など、多くの事件や事故で、子どもにとって関係する人たちの大切さをあらためて知ることができます。

それと同時に、仮に、子どもが十分な環境にいなかったとしても、それは不幸なこととしてそのままにしてはならないとの思いを強くします。子どもの周りの関係を整え、うまく子どもに関われない人を支援することも、子どもにとってとても大切なことです。

#### 子どもの権利とはなんだろう 子ども主体として

子どもには生きる権利があり、たまたま背負うことになった境遇でこれが損なわれてはならないし、子どもが持っている資質などによっても差別されてはなりません。子どもの権利を保障する際には、上でみたことも含めて、まわりの大人はそのために大きな義務や責任を負っています。こうした関係は、学ぶこと、幸せを求めること、自分自身であり続けることなど、それを権利と呼ぶことができるあらゆる場面で共通にいうことができます。

そして、もう一つ大切なことがあります。大人が子どもに負っているこうした義務や責任が子どもの権利を保障するためであるということは、単に、「大人がしてあげる」ということではないということです。大人が実際に子どものためにしてあげていることはたくさんあります。でもとても気になるのは、それがしばしば、「子どものため」といいながら、大

人の事情や考えが優先され、なされたことが結果として子どものためになっていないことがあるということです。「子どもにとってこれがいいんだ」として行われたことで、それが気づかれずにやり過ごされていることもたくさんあります。上で述べたようなことが子どもの「権利として」大切だというのであれば、場合によっては大人の事情や考えをおいておかなければいけないときもあるはずです。

それでは、本当の意味で子どものためということはどういうことなのでしょう。子どもをかわいいといって、力まかせに抱きすくめれば、子どもは痛がります。ときに苦痛と思うこともあるでしょう。子どものためということは、子どもを大人の思いや考えの対象にするのではなく、子どもを主体として尊重するということです。子どもは、少し大きくなれば意見として、そしてどんなに小さい子どもでも、その思いや考えをもちます。子どもによって表されたこうした思い、考え、意見を中心に大人が考えることができるようになったときに、大人の関わりは、それが最終的に子どもの考えと異なった対応をしななければならない場合でも、本当の意味で子どものためになり、その権利を保障したことになるのではないのでしょうか。

#### 西東京市の子どもの権利に関する条例

西東京市ではこうした子どもと子どもの権利についての考え方にもとづいて、子どもの権利に関する条例の制定を検討しています。その骨子は次のとおりです。

- 子どもの権利についての考え方がきちんと示され、それが一人ひとりの権利保障につながるようなものであること。
- 子どもの権利の保障についてのしくみが示されること。その際、子どもの意見が子どもが関係をもっている場でうまく反映できるようにすること、子どもの意見表明や参加の支援を位置づけること、子どものための施策を検証できるようにすること。
- 子どもの救済の仕組みを作ること。その際、子どもの思いや考えに添いながら、独立性を持って活動できるしくみとすること、また、現在の相談等のしくみがうまく生かされ、それぞれの機能を促進する役割を果たすものであること。
- 子どもにやさしいまちづくりという観点を持って、子どもの権利保障を立体的に捉えること。
- 条例制定のプロセスで、西東京の現状を踏まえ、西東京の資源を生かすとともに、条例づくりの段階から、子どもの意見が反映されるようにすること。